

生徒会の歩み



礎

生徒会長を務めて

高校旧生徒会長 陣屋 彰成

自分は去年、生徒会長という形で初めて市立長野高校の役員となりました。正直分らないことが多すぎて逆に、「まあなんとかなるだろう。最後はなんとかなるだろう。」と変な自信がありました。しかしその後痛い目にあうのでした。その出来事は今でも鮮明に覚えている、初めての生徒総会です。一年生の頃は全く生徒会に興味がなかったため自分が何をすればいいのか見当もつかないだけではなく、本番では緊張して掛け声がうまく合わなかったり、本当に一年間やっていけるのかというような会でした。しかしこの体験は自分が改めて生徒会長という仕事に就いていると自覚させられた出来事でした。

そこから自分は分からないことがあつたら周囲の生徒や先生に質問をしていき仕事を少しずつ覚えていきました。また募金活動や新入生歓迎会などでは課題も残りましたが自分らしく、積極的に人と関わっていき活動を進めることができました。ここから、自分の得意をもっと活動に活かしていこうと思えました。そして6月になって璃翔祭の期間になりました。今まで一番忙しかった企画であつたという間に時間が過ぎていきました。この時、去年の会長とは違う強みを活かし、璃翔祭を盛り上げ、今まで苦手だった動画制作にも力を入れていきました。もちろん自分だけではなく、たくさん周囲の人に助けられ、無事に璃翔祭を終えることができました。

最初どころか最後までずっと自分が本当に生徒会長に相応しかったか正直分かりません。けれど自分はこの仕事をいつも全力でやり切ったと胸を張って言えます。この一年間の失敗も成功も今後の人生でも大切にしていきたいです。

副生徒会長を経験して

高校生徒会旧副会長 菅沢 凜

私が副生徒会長になってから、もうとっくに一年が過ぎていて、気づくともう引退を迎えていました。時の流れは早いと、この原稿を書いて感じていきます。

この一年を振り返ってまず言うべきなのは「よくやってこれたな。」ということです。周りの生徒会の人達は皆優秀で、こんな中に出来ない私が入って良いのかと、初めは思いました。そもそも生徒会選挙で当選するかどうかも怪しかったと思います。正直、いつかダメになって「副会長やめます。」なんて言う日が来るかもと覚悟していました。

それでも私が副生徒会長をやつてこれたのは、周りの人のサポートがあつたからだと思います。生徒会長の陣谷君、もう一人の副会長である池田さん、生徒会顧問のブリザード先生と伊澤先生を始め、多くの人の支えを受けてきて、ここまでやってこれました。そのうち、私も生徒会に慣れてきて、文化祭の時の主な仕事であるポスター発注も、大きな問題もなくスムーズに進めることができました。

私が副生徒会長を経験した中で学んだことは、協調性の大切さです。文化祭の時では、一人ではできない仕事を周りの人に協力してもらったり、逆に誰かの仕事を自分が引き受けたりして、良い文化祭を作り上げることができたと感じています。改めて、生徒会の皆様には感謝しかありません。

これを読んでいる後輩の皆さん、こんな出来ない私が堂々と言えたことではありませんが、今度は皆さんが市立長野高校を引っ張っていく番です。特に新たに生徒会三役になった山岸君、宮澤さん、鈴木さんは本当に頑張ってください。皆で協力すればきっといい生徒会、いい学校を作っていけると思います。応援しています。



そして旧生徒会本部の皆さん、こんな私のことを一年間支えてくれてありがとうございます。ございました。このメンバーで生徒会の仕事をやり切れたことは一生の思い出です。

生徒会を担って

高校生徒会旧副会長 池田 しずく

私は高校一年生の後期から本部の書記として活動し、高校二年生後期からは副会長を務めさせて頂きました。この二年間を無事に終えることができたのは、一緒に三役を務めた二人、生徒会役員、先生方、そして全校の皆さんのおかげです。

めまぐるしい活動の中で、うまくいかないことや失敗もたくさんありました。ですが、そのたびに先生方に助けられながら、本部役員の皆で話し合い、考えを凝らし、乗り越えてきました。文化祭などの行事でも、一筋縄ではいかないことばかりでしたが、自分の副会長としてできることは何だろうと考えて行動に移し、仲間たちと支え合い、協力することで大きな行事を作り上げることができたことに確かな達成感を感じ、自分にとっての大切な経験になっています。初めは本当に自分にこの役割が務まるのかという不安が募る中スタートした生徒会活動でしたが、周囲の人にくさんの刺激をもらい、多くの学びの中で、人として成長することが出来ました。生徒会メンバーとの活動の日々は充実していて、とても貴重な思い出です。

次期生徒会役員の皆さん、私達ができなかったことを引き継ぐと同時に、どんどん自分たちがやりたいことに挑戦して、皆さんの目指す生徒会を作り上げてみてください。大変なことたくさんあると思います。ですがきっと一年後には、組織という人と人との繋がりを通じて物事をやり遂げる力に変わっていきませんか。皆さんが楽しく、のびのびと活動できることを祈っています。

最後になりましたが、伊澤先生、小池先生はじめとする生徒会顧問の先生方、生徒会役員の皆さん、そして全校の皆さん本当にありがとうございます。

代議委員会議長を務めて

旧代議委員会議長 青柳 澄佳

中学生の頃に代議委員会に入ってたから、高校でも入ってみようかな。一年生の後期の委員会決めて、なんとなく代議委員会の副議長になりました。その時の仕事は、生徒総会で少しだけ文章を読むことと、璃翔祭で受付をすることだけでした。なんだ、めっちゃ簡単じゃん。そう思いました。二年生の後期の委員会決めて、ブリザード先生と先輩から「引き継いでもらえると嬉しい」と言われ、議長を務めることになりました。新しい副議長は二人とも初めて代議委員会に入ったので、勝手を知っている私が指示を出して動かなければならない立場になりました。私が副議長だった頃は先輩についていってばかりだったので、いざ逆の立場になって活動がスタートしたときは困惑しました。そこで初めて、「私が副議長の時、苦労せずに仕事できていたのは、先輩が的確な指示と計画的な準備をしていたおかげだったんだ」と思いました。それから先輩のように引っ張っていけるように頑張りたいと思いました。

生徒総会を運営するにあたって、まずはシナリオ作りから始めます。初めて作成した時は、PROMに慣れていなかったので何度もやり直しがあつたり、とても苦戦しましたが、やっていくうちに段々と出来るようになりました。自分なりに、役員のみならずが見やすいシナリオになるよう工夫ができました。璃翔祭では二日間にわたり一般公開があるので、受付の当番表を作成しました。人数調整に少しミスがあつたりしましたが、委員のみんなが臨機応変に対応してくれたおかげで無事に終えること



ができました。また、今年は短冊の担当にもなり、上手く進めていけるのか不安でしたが副議長二人のたくさんのサポートのおかげで、大きな短冊を飾ることができました。

この二年間で成長できたなと思う部分もありますが、先輩のようにもっと安心してもらえる議長になりたかったです。副議長二人や先生には迷惑をかけてしまったこともありましたが、それでも支えてくださったおかげでやり遂げることができました。本当にありがとうございます。委員の皆さんも協力してくださり、ありがとうございます。

璃翔祭実行委員長を務めて

旧璃翔祭実行委員長 西條 琉花

私は入学当初から璃翔祭実行委員長になりたいと思っていました。理由は父に「文化祭実行委員長はすごく大変だけど、やりがいがあるって楽しかった」と言われたことでした。

実際やってみて、二年間すごく大変でした。二年生の璃翔祭前の一ヶ月はご飯を食べる時間もなくて三キロ痩せました(笑)。でも、それ以上にずっと楽しかったです。先輩たちと仲良くなれて、たくさん可愛がってもらえて。可愛い先輩と仲良くなれて、璃翔祭というビッグイベントに誰よりも長く関わることができ、とても幸せでした。そう思えたのは、何よりも支えてくださった先生方、相談に乗ってくれ、一緒に苦しさを共有できた本部メンバーのおかげです。本当にありがとうございます。みんなが応援してくれたことで頑張ろうと思えたし、最後まで気を抜かずに走り切れたと思います。

そして、大変な仕事を任せてしまった委員会や本部メンバーに謝罪させていただきました。仕事が出来るといふ信頼から、みんなには大変な仕事をたくさん任せてしまいました。本当に申し訳ないです。仕事量の差が出ってしまったのは私のミスです。それでもみんな文句も言わず、100%の完成度で仕事をやり遂げてくれたこと、本当にありがたかったです。すごく頼れる仲間でした。ありがとうございます。

私は過去に做っていくことが正解だと思っていました。だから先輩達みたいに上手くできないと落ち込んだし、これじゃ駄目だ。って思っていました。でも、引き継ぎ会の時に陣谷会長が言ったように、自分たちのやり方を見つけていけばよかったです。そんなことに気づいたのはもうすべてが終わった後でした。後輩のみんなには、私たちのやり方にとられず自分たちの最善を見つけて頑張ってほしいなと思います。最後まで、私についてきてくれてありがとうございます。

みんなのおかげでこの二年間、最高に幸せでした。本当にありがとうございます。

生活委員長を務めて

旧生活委員長 丸山 楓

学校生活を送る中で不満や要望が生まれることは多々あるでしょう。スマートフォンの使い方、制服の着こなし方、新しい行事について……。しかし、それに対して何か行動を起こす人はごく少数であるように肌で感じていました。生徒の皆さんはもちろん生徒会の活動に協力してくださいましたが、誤解を恐れずにいうのであればとても淡白な関わり方でありました。

その中で生徒総会で制服のあり方について変えていきたい、という意見が挙がったことは喜ばしいことであるように思います。ルールを破ることは簡単です。ですがそ



うすることではなく、そのルールとまっすぐ向き合うことで変えようとするその真摯な姿勢は、今までのあり方に一石を投じるものであったと私は思います。

生徒総会後にアンケートを実施したところ、制服に対して全校の皆さんがどのよう
に考えているかなど、ありのままの声を知ることができました。その結果、生活委員
会の在り方について悩み、思うように活動を行うことができないこともありまし
た。しかしながら、そのように多くの人が制服について、ひいては学校生活について考
える機会となっていたならば、さらにその後も普段から考えていただけていたならば、
たいへん嬉しく存じます。制服に限らず、ルールについて変えていくというのは時間
かかることです。現状を変えたいという気持ちがあるのならば、正面からぶつかるこ
とも必要なことなのではないでしょうか。

この一年を通して私は不甲斐ない委員長でありました。何度も学校生活、主に制
服に関するの質問を級友からも後輩からもいただき、また、学校生活への不平不満
も耳に入ってきました。皆さんの不満をすべて晴らすことは私にはできませんでし
た。それでも支えてくださった副委員長の二人、顧問の先生方、生活委員の皆さん、
そして協力してくださった全校の皆さん、本当にありがとうございます。新しい三
役の皆さんが生徒の皆さんが過ごしやすくなるように尽力して下さることを願っ
ています。

文化委員長を務めて

旧文化委員長 藤澤 沙希

私は、一年生の後期に文化委員会の副委員長を務め、委員長という役職を引き

継ぎました。今年とは違う時期や内容で全校が関わる行事の運営ばかりで、

行事が迫ってくるたびにドキドキしていました。そんな中でも、本部のみんなや委員
の皆さん、先生方がたくさんサポートしてくださったおかげで全ての行事を無事に
成功させることができました。

なんといっても、今年の合唱コンは初めての九月開催で間にある夏休みの使い方や
文化祭との兼ね合いなど例年よりも考えなければいけないことが多くありました。
ギリギリまでどうやったろうまく運営できるか悩んだのもキーボード回収のために
校内を駆け巡ったのも今となってはいい思い出です(笑)。本番当日は、全校の皆さん
の素敵な歌声が会場いっぱい響きとても感動しました。

しおりん、急に仕事を振ってもすぐに対応してくれたり、企画の相談に乗ってくれ
たりとたくさんサポートしてくれてありがとう！

ゆづきちゃん、真面目で頼んだ仕事もしっかりやってくれる子なので来年の文化
委員会を安心して任せられます。ちょっと適当な先輩二人についてきてくれてあり
がとう！

関わってくださった先生方、急な頼み事や変更点などたくさんあり迷惑をかけて
ばかりでしたが、毎回丁寧に親身になって対応してくださりありがとうございます
た。

文化委員長という責任ある立場を経験して、私は大きく成長できたと思います。
大変なことばかりでしたが、とても楽しかったです。

新三役のみんな、忙しいし委員会だけど肩の力を入れすぎずに楽しく委員会活
動頑張ってるね。応援しています。

最後に、全校の皆さん、一年間文化委員会へのご協力ありがとうございました。



熱い応援と熱い歓声が青春

旧体育委員長 君島 慶太

今年 三年生になって体育委員長として初めて生徒会に携わることになりました。

二年生のときは副委員長を経験していなかったのだからスタートでした。

「みんなが熱くなるCM(クラスマッチ)って、なんだろう?」この問いを自分は一年間念頭に置いていました。初めて開催したのは冬季クラスマッチ、冬季は初の試みで学年ごとに行いました。初めて開催して統率を図ることがすごく難しいと感じました。春には全校かつ一日ということもあり、さらに不安が大きくなっていったのが今でも覚えています。何度も考えてはやり直しを繰り返し、副委員長たちのおかげで春のクラスマッチを開催することができました。新一年生もクラスマッチを通して仲間と共闘する姿が見られ、ホッとした気持ちになりました。また、決勝に進むにつれて会場のボルテージが最高潮になったときも身体がビリビリした感覚になったのを覚えています。夏の体育祭は瑞翔祭の一番最初のイベントで、ここで盛り上げて文化祭のスタートを切りたいと思い企画を練っていました。短時間で協力・青春を作る競争を考え、当日に望みました。午前という早い時間ではあったものの大盛り上がりすることができました。秋では春、夏とやってきたものをもとに、さらにルールを修正してより良いクラスマッチを作りました。ちょうど受験期間で最も準備に忙しくなってしまうけれど、一、二年生も優勝が見えるような面白い展開を作ることができました。一年間体育委員長を務めて、初めて統率、運営、企画を行い、大きく成長できたと感じています。また、クラスマッチも大成功で終えることができて良かったです。在校生の皆さん、来年度のクラスマッチも楽しみにしてくださいー!(笑)

クラスマッチという全校が熱くなり、仲間と本気で戦う青春のイベントを先頭に立つて作り上げることができました。企画、運営に携わってくれた生徒達、先生方には感謝でいっぱいですー!

ゴミステーション

旧整美委員長 田中 翔

僕は高校一年の後期に整美委員会副委員長として、生徒会のメンバーに所属しました。しかし、当時、同学年のメンバーの男子は僕だけで楽しい生徒会活動ではありませんでした。そのため三年では生徒会をやるつもりはなかったのですが、上からの圧力により委員長に就任するしかありませんでした。しかし三年生での整美委員会は非常に楽しい思い出となりました。

生徒会活動を楽しく行えた一番の理由は副委員長の宮澤君と玄さんのおかげです。二人とも仕事はしっかり行ってくれる頼もしい副委員長でしたが、宮澤君は野球が好きすぎて委員会活動中にシャドーピッチングをしたり、玄さんに至ってはモニターハンターのゲームが好きすぎて、委員会活動中に「一狩り行ってきますー!」と言って逃亡を繰り返していました。このような個性豊かなメンバーですが、二人のお陰で楽しい生徒会でした。副委員長が宮澤君と玄さんの二人だったからこそ楽しく生徒会活動を送ることができました。整美委員会は毎日ゴミステーションでゴミの回収・分別を行うことが地味な仕事ですが委員の皆さんは毎日忘れずに当番に来てくれて、整美委員会の活動を支えてくださり、非常にありがたかったです。私が整美委員長になってからは、学校の美化に対する活動は何一つ行っておらず、役に立っていませんでしたが、来年の委員長である上村君に是非とも期待をしています。



最後に個性的なメンバーばかりの中、整美委員会が崩壊せずにいられたのは顧問である住谷先生と佐藤先生のお陰です。住谷先生は毎日ゴミステーションに来てくださり、ありがとうございます。これからも整美委員会をよろしく願います。

新聞委員長を務めて

旧新聞委員長 涉澤 紅那

一年生の後期から新聞委員会の役員を務めさせていただき、早二年。新聞委員会とはもう長い付き合いです。初めの頃は優しい先輩方から任せられた仕事をこなすだけでしたが、委員長になってからはじっくり新聞と向き合い、全校生徒が読みたくなる新聞を目指して活動してきました。活動内容は新聞作成と行事の写真撮影のみ、ですがこれが意外と大変なのです。いざ気合を入れて取材に伺っても、日々忙しい先生方はいらっしやらないことがしばしば。何度も職員室前の廊下を往復しながら、事前に連絡しておくことの大切さを痛感しました。突然の取材にも快く応じてくださった先生方には感謝しかありません。そんないつ完成するのかわからない新聞作成でしたが、たっぷり時間をかけてなんとか完成させることができました。だからこそ、沢山の方々に読んでもらいたいです。一方、写真撮影の仕事の割り振りが大変でした。少しずつですが、撮影を通してほぼ全ての企画を見ることができてとても良い機会になりました。また、今年は委員の皆さんにも協力してもらったおかげで、普段は見られない友達の様子や風景、笑顔溢れる素敵な瞬間をたくさん収めることができました。これらの素敵な写真を今後の行事に活かしてほしいです。

思うように進まず、大変なこともありましたが、副委員長の二人のゆあちゃんに支えられ、無事最後まで委員長を務めることができました。忙しい中、朝や放課後に時間を見つけて取材してくれてありがとうございます！すぐく助かったよ。新聞の誤字に気

づかずそのまま印刷してしまった時、すぐに対応してくださった中嶋先生、畠山先生、あの時はすみませんでした。迅速な対応に助けていただき、ありがとうございます。そして、突然の取材にも快く応じてくださった皆様、ご協力ありがとうございます。全校生徒が読みたくなる新聞を目指したところ、最終的には新聞っぽくない、ポスターのようなものになってしまったことが反省点です。次の作成は、新聞らしさを残しつつ頑張つてね！

広報委員長を務めて

旧広報委員長 善財 彩菜

広報委員会はなんとなく存在感の薄い(?)委員会ですが、学校生活において重要な役割を担っています。私は一年生の後期から副委員長、さらに二年生の後期から委員長として活動しました。振り返ると、多くの苦労や達成感があり、忙しい中でも充実した日々を過ごせたと思います。

私が委員長としての最初の仕事は生徒会誌「礎」の作成でした。発行部数や予算、内容を決め、大量の原稿を入力&校閲まで多くの作業があり、特に Word を使って三年生全員分の寸言を入力する作業は骨が折れました。また、全校アンケートのページのイラストは、自分で一から手書きで仕上げなければならぬため正直投げ出したくなっていましたが、完成した時には達成感を味わうことができました。

三年生に上がり、今度は璃翔祭に向けてパンフレットの作成やポスター貼りの仕事待ち受けていました。一言にパンフレット作成、と言っても作業量が今までと比べにならないくらい多く、準備期間中は副委員長の田近とパソコン室に籠りつきりて



作業しました。当日は二千部印刷したのにまだ足りないという状況になってしまいました。粉骨砕身して作ったパンフレットがそれだけ多くの方に手にとってもらえたという事実が嬉しかったです。

無事に委員長としての役目を終えることができたのは、決して私一人の力だけではありません。委員会を支えてくださった多くの先生方や全校生徒の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

委員のみんなへ。礎やパンフレット作成にあたってのクラスへの連絡、璃翔祭準備期間にはお店のアポ取りから、炎天下の中ポスター貼りまで、ありがとうございます。新三役のみんなへ。誰かさんみたいにリー研や生徒総会のリハーサルをすっばかささないでね(笑) 困ったことがあったらいつでも助けます。最後に、往復七キロかけて行ったポスター貼りは普段運動しない私にとってハードワークだったけど、帰りに副委員長と棒アイス一箱買って一瞬で食べ尽くしたのはいい思い出です!!

放送委員長を務めて

旧放送委員長 宮島花

授業終わりにある先生から「放送委員長やっていただけじゃないでしょうか?」という一言から放送委員長を務めさせていただきました。最初はわからないことばかりで、助けてもらうことも多かったです。任された仕事は責任を持ってやり遂げたい。そんな思いをもって副委員長をはじめ、たくさんの方々の方々の協力のおかげでやり遂げることができました。文化祭、昼の放送、翼プロジェクト、芸術鑑賞等のアナウンスに音響といった沢山の貴重な経験をさせていただきました。翼プロジェクトのアナウンスを終え、芽依ちゃんと「お疲れさまー」と抱き合って満足していたら、二人とも水筒

を忘れて帰ってしまったのも良い思い出です。アナウンスはたくさんの方から好評をいただけて、とてもやりがいを感じる事ができました。

お昼の放送では、全校の皆さんからのアンケートを基に、プレイリストを作成しました。シャッフル再生のため、どの曲が掛かるかはパソコン次第。何百もの曲の中から皆さんの好きな曲で素敵な時間を過ごさせてもらえたら嬉しいです。

さて、ここでクイズです。放送委員に必要な力ってなんだと思いますか。滑舌の良さ?それとも機材への詳しくさ?いいえ違います。正解は「タフさ」です。新しい委員の子たちに放送の仕方を教えると、緊張しながら放送をする様子をたびたび見ます。ただ、完璧じゃなくてもいいということを伝えたいです。噛んでしまっても良いし、間違えてしまったら臨機応変に対応していけばいいんです。私自身も、委員会では計画通りに物事が進まないことで気疲れしてしまうことがありました。それでも周囲の支えやタフでいられたからこそ、やり遂げることができました。だからこそ放送委員の要素として最適解を出すのであれば身体的にも精神的にもタフでいることだと私は思います。

最後になりますが、顧問の松島先生、優来ちゃん、心音ちゃん、放送委員会に関わってくれた人たち、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。そして新しい三役の皆さん頑張ってください!心音ちゃんが委員長なら、安心して任せられます。全校の皆さんもぜひお昼の放送に耳を傾けてくれたら嬉しいです。

緑花委員長を務めて

旧緑花委員長 中村 紗文

役職を引き継ぎ、最初の活動は昇降口に設置するプラントーのお花選びでした。



降籙先生と副委員長のみゆちゃんとジャスの四人でおぶせフラワーセンターに行きました。たくさん種類があつて選ぶのがとても楽しかったです。ちなみに私のお気に入りにはペチュニアという花です。とっても可愛くて素敵なお花です。朝登校した時に皆さんが明るく良い一日を過ごせるようにという気持ちを込めて花壇の手入れをしました。皆さん、花壇は見ていただけましたか？

また、夏場の学校が少しでも涼しくなればいいなという思いから、今年度から新しくグリーンカーテンを企画しました。初めての試みで、ネットのサイズ間違いや先生方への連絡ミスなどが起こり、一つのことを企画し実行することの大変さを実感しました。そこで、どうすれば企画がスムーズに進むか副委員長と二人や担当の先生方と何度も話し合い、無事設置することができました。完成した時の達成感はとても大きかったです。璃翔祭までに完成させることを目標にしていたので、テスト期間中にも関わらず、委員のみんなが頑張ってくれました。作業は大変でしたが、グリーンカーテンが青々と育っていく様子を見ると嬉しくなり、頑張つてよかったなと思いました。

最後に、至らぬ点多々あつたかと思いますが、委員のみんなには本当に感謝しています。この一年間の活動を通して私自身も成長できました。来年も綺麗なお花を咲かせてね。一年間ありがとうございました。

保健委員長になって

旧保健委員長 塩入 姫花

私は、二年生の後期から三年生の前期にかけて、保健委員長を務めてきました。

委員長になって、たくさん仕事をしましたが、特に大変だったことは、璃翔祭



のステージ企画の担当になったことです。保健委員会の仕事を行う中で、カラオケ大会の企画運営もするのは、私にとってはとても大変なことでした。しかも、MCもすることになり、不安な気持ちでいっぱいでした。カラオケ大会の参加者として、生徒

だけではなく先生も勧誘した結果、山田先生が参加してくれることになりました。ちなみに、山田先生以外にも勧誘した先生が一人いるのですが、それは誰でしょうか？正解は国語科の原田先生でした！原田先生の歌もきいてみたかったな！来年も、もしかしたらカラオケ大会やるかもしれないので、歌ってほしい人がいたら担当の人に伝えてください。

当日は、学生だけでなく一般の方も想像以上に多く集まっていたので緊張しました。参加者のうちの一人が直前に出ることができなくなってしまったので、MC二人で最後に一曲歌うことになりました。歌ったのはいいけど、ミスしまくりだったので、恥ずかしい思い出になってしまいました。結果として、全体的に選曲が偏ってしまったり、参加人数が不十分だったり、正直、自分の満足する企画にできなかったところもありました。だけど、貴重な経験することができて本当によかったと思っています。大変なことはたくさんあつたけど、楽しかったことや、嬉しかったこともたくさんありました。副委員長の二人や、先生方の支えがあつたことで本当に助けられて、本当に感謝しかありません。

これからも三役で協力し合つて頑張つてね。

図書委員長を務めての感謝

旧図書委員長 加藤 陽彩乃

まず初めに、ただの本好きが図書委員長をこの一年間務めることができたのは、

多くの方々の支えがあったからこそです。図書委員会へのご協力、本当にありがとうございます！

私は、一年生の後期から図書委員会副委員長となり、そして二年生の後期から委員長を引き継ぎました。委員長となったこの一年は、元々不器用なところに責任感も求められ、想像していたより忙しく大変でした。引き継いでから二ヶ月経つと、ビブリオバトルという行事が開催されます。毎年委員長の皆さんを巻き込んで行っています。個性的なビブリオバトルが行われるので、個人的に好きな行事です。また、代表的な行事としては璃翔祭の図書企画があります。今年は三つの企画を行いました。特にしおり作りでは、小中学生の子ども達がたくさん参加してくれました。外部の人と話す機会も多くある図書企画は難しさもあつたけれど、楽しさも感じることもできました。

その反面、私は委員長と部活動の両立に苦戦しました。図書委員会の行事と部活動のイベントが重なる機会が多くありました。そして最後には図書委員交流会という市内の図書委員会三役が集まる行事と部活動の大会が重なりました。私は未だに交流会に参加できなかった申し訳なさがあります。ここで改めて両立する難しさを実感しました。

それでは最後に感謝の気持ちを言わせてください！まず、図書室を利用していただいたり、古本回収に協力していただいた先生方、生徒の皆さんありがとうございます。次に、璃翔祭でスムーズに行動してくれた図書委員の皆さんありがとうございます。また、行事の相談や図書だよりの添削に親身に付き合ってくくださった顧問の先生方、本当にお世話になりました。そして、私より良い意見を出し、立派な図書だよりを制作してくれた副委員長の二人、本当にありがとう！引き継いだ三役には期待しています。一年間、大変なことあると思うけれど、協力し合って頑張っ

てね！
応援しています。

一年を振り返って

旧選挙管理委員長 永井 慶香

一年前の十月、選挙が終わり生徒会が引き継がれ、私は選挙管理委員会の委員長を任せました。今まで選挙管理委員会に入ったことも選挙活動を行ったこともなかった私は委員長を任せられ、本当に自分に務まるのかとても不安でした。

文化祭では、予定を計画しても思うように進まなかったり、ギリギリまでどうなるかわからなかったりと焦ったりもしましたが、周り協力することで成功させることができました。人の上に立つ、ということがいかに大変か、人を動かすことがどれほど苦勞することなのか身をもって実感しました。また、選挙では去年と日程が大きく変わったため夏休みを挟む格好となり、一から予定を立てなければいけませんでした。臨時委員会を何度も開いたり、何枚もコピーする原案を考えたりと予定を何度も組みなおすといった作業はとても大変で、周りにもたくさん迷惑をかけてしまいました。しかし、周りの助けや協力のおかげで無事に全ての行事を乗り切ることができました。一人では時間がかかることも協力することで時間を有効活用することもでき、自分一人でするだけでなく、互いに協力し合うことの重要性についても考えさせられ、とてもいい経験となりました。

次のステージに進むにあたり、さらに多くの人と出会い、いろんな場面で協力が求められると思います。そんな時、この高校生活で培った力を活かし、乗り越えていきたいです。一年間、本当にありがとうございました。



ルーム長会長を務めて

旧ルーム長会長 山口 遥羽

一年間、ルーム長会長を務めました。引き継ぎ会の際に前会長から、「基本的にはクラスを統率するだけだからそんなに大変じゃないけど、クラスTシャツの作成は荒れる、ほんとに気をつけて」と言われました。何かやらかしてしまった時の同学年からのバッシングとか耐えられないなと思い、とても怖かったです。にんじんTシャツとかわれている私たちの学年のクラスTシャツを変える方向にもっていくためには、先生達の許可をいただく必要があります。アンケートを作成し、学年の多くが作り替えを希望したため、先生に証拠としてアンケート結果を提出し、学年費から少しだけお金を出してもらえないかお願いしました。すると作り替えの許可が降りただけでなく、全金額を学年費から負担してくれると言ってくれたんです！先生ありがとうございました。その後、クラスTシャツのデザインや背ネームなどをクラスごと決める作業に入りました。ほんとうに大変でした。各クラスのルーム長さん達も、すごく大変そうだったけど、頑張ってくれて本当に感謝しています。みんなの頑張りのおかげで無事完成し、サイズはちょっと小さかったけど、行事の時に新クラスTシャツを着ている学年の人達の姿を見た時は、やりがいを感じました。各クラスのルーム長さん達は、クラスTシャツの作成だけでなく、社会貢献活動の際には、能登半島と長野県立子ども病院の二つの場所の支援に向けて、募金活動も頑張ってくれたり、璃翔祭の時には、腕相撲大会の参加者を募ってくれたり、本当に働いてくれました。助かりました、ありがとうございます！そして、様々な活動をする中で、生徒会長をはじめ本部の人達や他の委員長さんが手を貸してくれてすごく心強かったです。

こんな風に、沢山の人に助けてもらい、一年間ルーム長会長を務めることが出来ました。頼りになる人達に囲まれて、この役を終える事ができ、嬉しいです。次の会長はかれんです。がんばってね！

交通委員長を務めて

旧交通委員長 芋川 理奈

私は、一年生の後期から交通委員会に所属し、副委員長として、委員長を経験させていただきました。副委員長の時は、先輩方のおかげで大変な仕事もとても楽しみながら活動することができました。しかし、いざ引き継いでみると先輩方のようにできるのかとても不安になったことを今でも覚えています。

交通委員会の仕事は主に、自転車点検と璃翔祭での事業です。自転車点検は、新年度が始まり一ヶ月くらい経ってから自転車の施錠、ステッカーが貼られているかの確認をして、出来ていない自転車を撤去します。今年度は、去年していたチェーンで巻きつける作業をなくしたためか途中で撤去場所から持っていった人がいたり、撤去する台数が去年より増えてしまうなど改善点が多くありました。もう少し工夫をすれば良かったなと反省しています。前委員長の期待に応えることが出来なかったのが、新委員長には頑張ってもらいたいです。

もう一つの璃翔祭の事業では二つの係を任せられました。施設係では、各クラスや委員会、今年度から再開した部活動などの企画で使用する机や椅子の管理、貸出し、駐車場係では当日のシフト調整などを行いました。事前の準備から当日までこんなに仕事があるのかと驚きましたが、前もって準備をして色々な人に協力していただき、終わってみるとトラブルもなく安全にやり遂げることができて良かったです。



委員の皆さんには仕事量も多く暑い中、外で活動していただき、ありがとうございます。また、慣れないことも多い中で担当して下さった先生方には何から何まで助けていただき、感謝しています。

生徒会活動を通して、大変なこともありましたが振り返ってみるとたくさんの人と関わることができ、多くの学びを得られ充実した活動になりました。この貴重な経験を忘れずにこれからも活かしていきたいです。最後に、ここまで頑張ることが出来たのは副委員長の二人が支えてくれたからです。本当にありがとうございます！一年間、交通委員会の活動にご協力していただきありがとうございました。

新たな挑戦

中学校旧生徒会長 伊藤獅隆

今年度の生徒会は「創彩輝」というスローガンのもと、活動してきました。これには、みんなで生徒会を創っていききたい、一人ひとりの色をつけていく、みんなが輝けるようにという意味が込められています。今年度はこのスローガンに基づき、「みんなぞ」というのを大切に活動してきました。

もっと璃翔祭に関わりたい、創りたいという思いをもとに今年から璃翔祭実行委員会という委員会を作りました。中学校の璃翔祭実行委員会では、どんなことをしたいのか、どんな璃翔祭にしたいのか話し合いを重ねていきました。話し合いを重ねていく中で、意見がうまくまとまらず難しさを感じたことも多々ありました。中高合同の打ち合わせでは中学校の要望を受け入れてくださり、今までになかった中高合同でステージ発表を実現することができました。みんなで思いっきり盛り上がり、楽しいそんな璃翔祭でした。高校生の皆さんの発表も、クラスずつ個性が溢れた発表

ですごく面白かったです！ステージ発表は璃翔祭の中で何よりも印象に残っています。璃翔祭後には「今年の璃翔祭ほんとに楽しかった！」などと言ってもらえて嬉しかったです。このような楽しくて思い出に残る璃翔祭を創ってくださった高校生と中学生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。僕の中では、三年間の中で一番思い出に残った璃翔祭でした！

生徒集会では、委員会の連絡を劇で行い、わかりやすく伝え積極的に参加を促せたいと思います。生徒集会は、たくさんの方があつたわけではありませんでしたが、目指していた姿「みんなぞ」を行うことができました。生徒集会によって少しでも生徒会が身近に感じてもらえていたら嬉しく思います。

一年間の生徒会活動を通してどんなことにも挑戦する大切さを学ぶことができました。さまざまなおことにチャレンジしたからこそ市立長野中にとって大きな一歩を踏み出せたと思います。大きな一歩を踏み出せたのも皆さんの協力があったからこそだと思います。企画に積極的に参加してくれる皆さんのおかげで生徒会活動が充実した一年間になりました。改めて、一年間生徒会活動へのご協力ありがとうございました。

未来を築く礎として

高校生徒会新副会長 宮澤 葉

副会長になり早くも二ヶ月が経ちましたが、未だにこの役職が板についていません。実際周りにも「あんた何委員会だっけ。あ、副会長か。」と言われました。改めて、新副生徒会長になりました、宮澤葉です。友達の言葉にもあるように、入学した一年半前は自分が副会長になるとは想像もしていませんでした。



私は先生の後押しで副会長に立候補しました。会長を志す人が多くいた中、副会長に名乗り出る人は一人もいませんでした。先生に推薦された際、本当に自分ではないのか、副会長という重役が私に務まるのか不安でいっぱいでした。しかし、そんな私が副会長になることを決意したのは、先輩方が築き上げた市立長野の生徒会をより良くし、次の後輩たちにこの学校が自慢できるものであってほしいと思ったからです。

私は一年の後期から本部役員として生徒会に携わってきました。先頭に立ち、苦勞しつつも舵を取ってきた先輩方を間近で見ってきました。そんな先輩方を誇りに思うと同時に、自分自身も先導する立場となり、市立長野をもっと良くしたいと思うようになりました。また、私は五年間市立長野の生徒として過ごしてきた中で、たくさん「この学校に入学して良かった」と思う場面があります。自分がそうであるように、誰かにも市立長野に入って良かったと思う瞬間を皆さんと共に作り上げていきたいです。

ふと、この冊子のタイトルである「礎」の意味が気になり調べてみました。某G先生によると『物事の土台、基礎となる大事な物事』とありました。私たちのあるべき姿はまさにこれなのではないかと、漠然と感じています。私たちの築く生徒会が市立長野の「礎」となれるよう精一杯精進して参ります。市立長野、パワーアップに向けて準備中！

副生徒会長として

高校生徒会新副会長 鈴木 唯夏

かりで不安と期待感でごちゃ混ぜな感情です。最近になってようやく副会長としての自覚が追いついてきました。

そんな私が副生徒会長になった理由は中学での生徒会の経験が第一にあります。私の通っていた中学では、生徒会をはじめとした学校全体が一体となって行事を成功させたり、普段の生活からより過ごしやすしい学校づくりに力を入れていました。そんな中学の生徒会で活動できたことで、多くの成功体験を経てもやりがいを感じ、次第に高校でも生徒会に携わりたいと感じるようになりました。ですが、今まで私は本校の生徒会には一切関わってこなかったため、いつまでも中学の生徒会止まりの私には場違いかも知れない、そう思いながらも、先生から声をかけていただいたことをきっかけに、副生徒会長に立候補することができました。推薦責任者の方をはじめ、応援してくださった多くの方々の方があつたからこそ、今、こうして副生徒会長としてこの文章を書くことができています。本当にありがとうございます。そんな背中を押してくださった方々の思いを胸に、副生徒会長として生徒の皆さんに寄り添い一緒により良い学校を作りたいと思っています。

副生徒会長になってからも二ヶ月が経とうとしています。未だ慣れないことば

